

本邦近年強震ノ震原地

委員 理學博士 大森房吉

去ル明治十八年以後、明治三十八年末迄デ二十一年間ニ日本各地ニ發シタル、大震、激震等多少破壊的ナリシモノヲ始メトシ、強震及ビ震動區域ガ大ニシテ陸地面積ノ約四千里以上ナリシ顯著地震ヲ調査シタルニ其ノ數ハ二百五十七回ニシテ、震原地ニ從ツテ區別スレバ左ノ如シ

(い) 本州ノ東方及ビ北海道ノ東南海中ニ發セル地震

根室、釧路ノ海中	二十五回
日高、陸奥間ノ海中	二回
陸奥沖	十九回
陸奥、陸中沖	二回
陸中沖	十回
陸前沖	二十八回
磐城沖	十九回
常陸沖	十四回
房總沖	十一回
伊豆沖	八回
紀州東沖	一回
合計	三十一回

(は) 紀州西沖……………一回

(に) 土佐室戸崎ノ沖……………一回

(ほ) 九州南東海中

日向灘南部……………三回

屋久島、種ヶ島近海……………三回

琉球大島ノ東方海中……………一回

(へ) 秋田、庄内地方

秋田沖……………一回

酒田附近……………一回

(と) 能登附近

富山沖……………一回

能登西沖……………三回

(ち) 伯耆、出雲

伯耆沖……………一回

出雲沖……………二回

(り) 陸中ノ中部、及ビ陸中、羽後ノ境界……………三回

(ぬ) 武藏、下總附近

武藏東北部……………五回

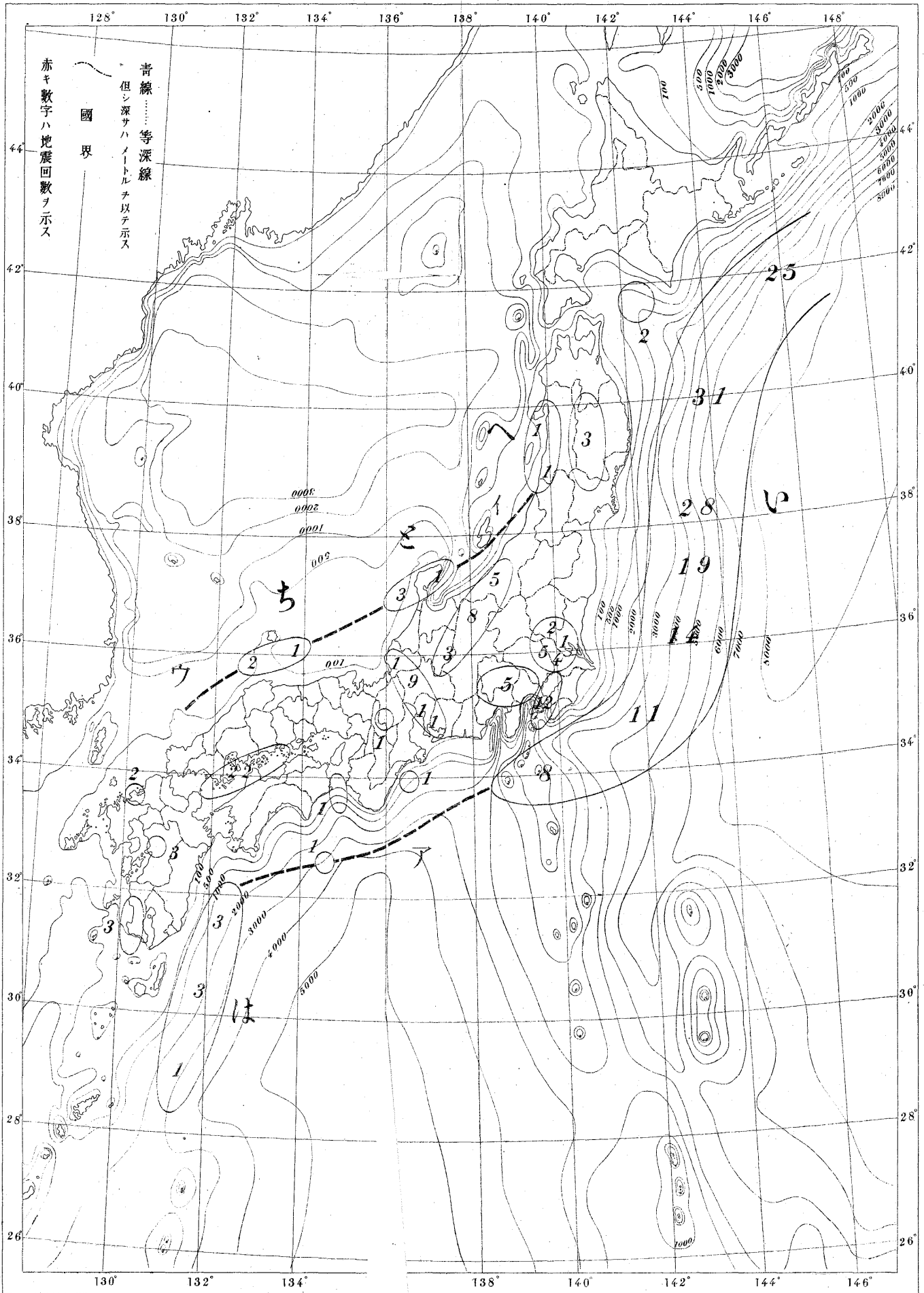
下總西部……………四回

常陸西部……………一回

(下野南部).....	二回
(る) 東京灣、及ビ相模灘東部	
東京灣.....	九回
相模灘.....	二回
浦賀水道.....	一回
(を) 相模、甲斐、駿河地方.....	五回
(わ) 飛、信、越地方	
信濃(北部).....	八回
越後(中部及ビ西部).....	五回
飛彈(東部及ビ南部).....	三回
(か) 濃、尾、越地方	
美濃(内一回ハ明治廿四年ノ大震ニシテ濃、尾、越三個國ニ亘ル).....	九回
美濃、越前ノ國境.....	一回
尾張灣.....	一回
尾張、三河.....	一回
(よ) 琵琶湖近傍.....	一回
(た) 内海ノ中部及ビ豊後海峽.....	二十三回
(れ) 筑前ノ西部.....	二回
(そ) 熊本近傍.....	三回

(つ) 薩摩南部及ヒ其ノ西方ノ海中.....三回
 (ね) 石垣島附近.....一回
 (な) 八重山島附近.....一回
 (ら) 臺灣島ノ東沖.....四回
 (ひ) 臺灣島西南部、即チ嘉義附近.....二回

摘要 前表ノ結果ハ附圖(第五版)ニ示スガ如シ
 廣大ナル地震ガ最モ屢々發起スルハ(い)即チ北海道及ビ本州
 東方ノ海底ヨリ豆南諸島ニ延長スル一地帯ニシテ此ノ震原
 帶ニ屬スル顯著地震ノ數ハ合計百三十回ニ及ビテ、正サニ日
 本全國ニ關スル地震回数ノ半數ニ當ル、(ア)ト記ルセルハ寶
 永大地震ノ震原ヲ略示スルモノニシテ、安政元年十一月四日
 ノ大地震ハ此ノ地帯ノ東半ヨリ、翌五日ノ大地震ハ其ノ西半
 ヨリ起リタルモノナルガ、(い)ハ(ア)ニ連續スルモノナルベ
 ク、(ア)ハ更ニ(ほ)ナル日向灘ヨリ琉球大島ノ東方海底ニ延
 長スル震原帶ニ連續スルモノナルベシ
 即チ(い)、(ア)、(ほ)ハ日本島弧ノ外側ニアリテ、大體ハ日
 本島弧ノ走向ニ並行スル主要ナル地震地帯ヲ形成スルモノト
 謂フベク、之ニ命名シテ假リニ「外側震原帶」ト稱スベシ、寶
 永安政等ノ時期ニハ此ノ地帯中ノ(ア)ヨリ大地災ヲ生ジタル
 ガ、現時ハ(い)ガ地震活動力ノ最モ盛ナルモノトナレリ



日本海方面ニ於テハ(へ)秋田、庄内附近、(と)能登半島附近(ち)伯耆、出雲ノ海中等ノ震原地アリ、地震活動力ノ度ニ至リテハ固ヨリ太平洋方面ナル外側震原帯ニ比スベキモノニ非ズ遙ニ弱小ナレドモ、唯ダ(へ)ハ古來激烈ナル震災ヲ發生シタルコト數回ニ及ベリ、(イ)ハ天保四年ノ佐渡、庄内地震ノ震原地ノ概位置ナルガ(へ)ト連續スルモノナルベシ、又タ(ら)ハ明治五年ノ石見國濱田地震ノ震原ヲ略示スルモノナルガ(ち)ト連續スベク、大體ニ於テ(ヘイとちら)ハ相關聯シテ日本海海岸ニ密接セル一帯ヲ成スベシト思ハル、假ニ命名シテ之ヲ「内側地震帶」ト稱スベシ

他ノ震原地帯ニテ顯著ナルモノハ(わ)越後中部ヨリ信濃北部、飛彈ノ東部ニ亘ルモノ、(る)東京灣及ビ相模灘、(か)濃尾、越地方、(た)瀬戸内海ノ中部ヨリ豊後海ニ亘ル地溝ナリ

上記種々ノ震原地ヲ通覽スルニ、外側及ビ内側ノ兩震原地帯ヲ始メトシ「信、越、飛」、「東京灣及ビ相模灘」、「瀬戸内海」等ハ皆ナ日本島弧ニ並行スルモノニシテ、「相模、甲斐、駿河」地方、及ビ「濃、尾、越」地方ハ多少同弧ニ直角ヲナスモノナルベシ